

Buddycom 機能

ユーザーガイド v1.0.0

データ転送



改訂履歴

日付	バージョン	内容
2021/12/27	1.0.0	初版

1. 機能

※この機能は、Talk Enterprise プラン、Livecast Enterprise プランで利用できます。

転送設定をしたグループに対して、条件に一致するデータを転送できる機能です。

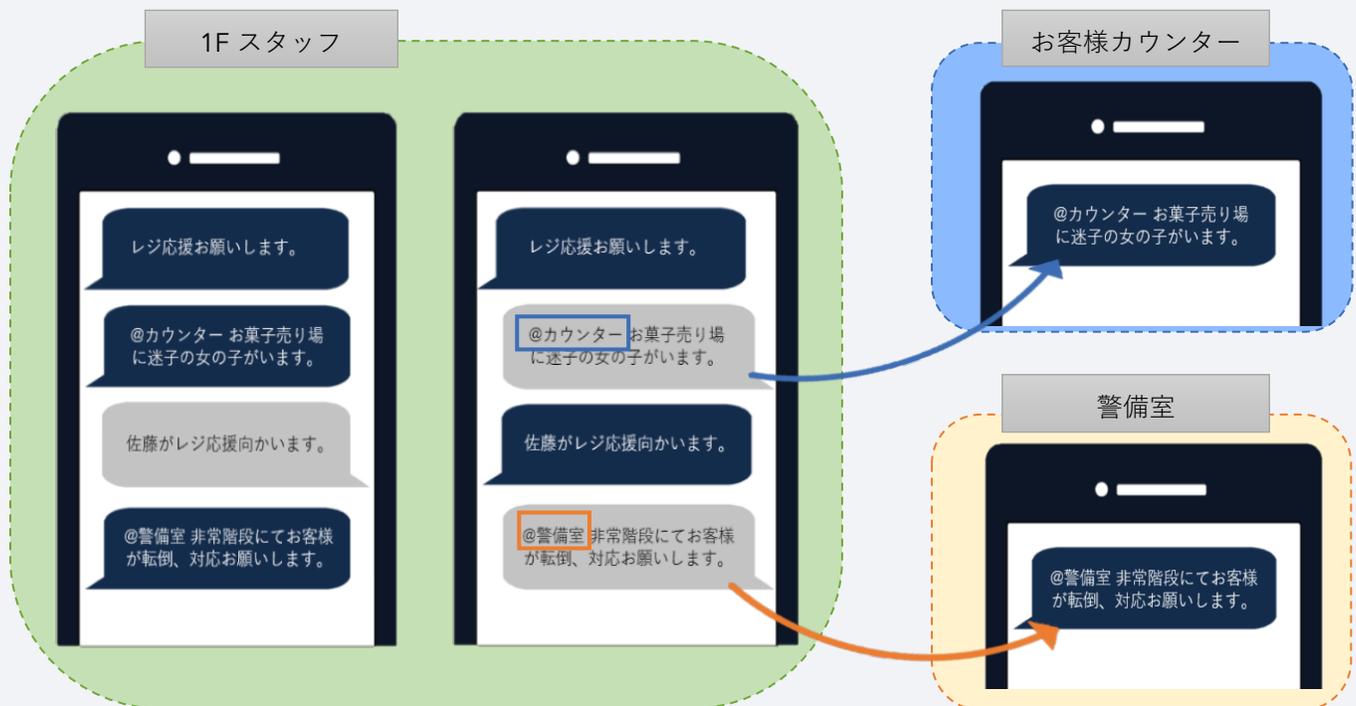
転送可能なデータは下表の通りです。

転送できるデータ	転送できないデータ
テキスト	音声データ
サウンド	音声テキスト化データ
アラート	翻訳データ
メロディースタンプ	ライブキャスト動画
定型文	画像

データ転送機能は、通常業務は各グループ内で通話を行い、一部の情報のみ担当者と共有したいなど、特定のデータを Buddycom アプリの「話す」設定をしているグループとは異なる特定のグループに転送したい場合に利用します。

例えば、「お客様カウンター」グループに転送したい際のキーワード(転送条件)を「@カウンター」にすれば、「@カウンター」から始まるテキストを送信した際にテキストデータが「お客様カウンター」グループに自動転送されます。

データ転送設定を複数行うことで、キーワード毎に異なるグループに転送することができます。



2. データ転送の設定方法

管理コンソールにて、データ転送の設定を行います。

2.1. 管理コンソールにログインします。

<https://console.buddycom.net>

管理コンソールにて「管理者ユーザー」でログインしてください。

「管理者ユーザー」のログイン ID、パスワード情報は、テナント開設時のお知らせメールに記載されています。

2.2. AI・アプリ連携の設定

設定画面の「AI・アプリ連携」の画面右側に表示された「追加」をクリックします。



2.2.1. 項目について

項目	設定内容
表示名(必須)	任意の名前を入力します。 ※このデータ転送設定の識別子になります。
転送条件(前方一致)(必須)	異なるグループに転送するキーワードを設定します。 詳しくは「転送条件の設定について」をご参照ください。
転送するトークグループ ID(必須)	転送先のグループのグループ ID を設定します。 詳しくは「転送条件の設定について」をご参照ください。
区切り文字(任意)	「転送条件」と「転送するトークグループ ID」の区切り文字を変更できます。デフォルトは「,(カンマ)」です。 転送条件に「,」を含む際は、区切り文字を変更してください。

例えば、「お客様カウンター」グループに対して、「@カウンター」から始まるテキストと、「SOUND:1」を転送したい場合は、以下のように設定をします。

2.2.2. 転送条件の設定について

転送するデータ毎に下表のように設定をします。

転送データ	設定方法
テキスト	<p>転送したいテキストの先頭文字を指定します。</p> <p>例えば「@カウンター」と設定した場合、「@カウンター・・・」とテキストを入力して送信すると転送先のグループに転送されます。</p> <p>「・・・@カウンター」のように文中にキーワードを含めてもテキストデータは転送されません。</p>
サウンド	<p>Buddycom アプリにて送信可能なサウンドは 2 種類です。</p> <p>「ピンポン 1」を転送する場合は「SOUND:1」と指定します。</p> <p>「ピンポン 2」を転送する場合は「SOUND:2」と指定します。</p> <p>どちらも転送する場合は「SOUND」と指定します。</p>
アラート	<p>Buddycom アプリにて送信可能なアラートは 3 種類です。</p> <p>「アラート 1」を転送する場合は「ALERT:1」と指定します。</p> <p>「アラート 2」を転送する場合は「ALERT:2」と指定します。</p> <p>「アラート 3」を転送する場合は「ALERT:3」と指定します。</p> <p>すべて転送する場合は「ALERT」と指定します。</p>
メロディースタンプ	<p>メロディースタンプを転送する場合は、「MML」と指定します。</p> <p>特定のメロディースタンプのみを転送する場合は、「MML:メロディースタンプのタイトルなど」を指定します。</p> <p>例えば、「"Kanon",t95o7d8・・・」という内容のメロディースタンプを転送する場合は「MML:"Kanon"」と指定します。</p>

転送条件を複数指定する場合は、「@カウンター, SOUND:1」のようにキーワードを区切り文字(デフォルトは「,」)で区切って入力します。

キーワードは先頭から 5 個目までが有効です。

6 個目以降は設定をしても転送条件として認識されません。

2.2.3. 転送するトークグループ ID の設定について

グループ ID とは、グループを識別する固有の ID です。

転送するグループの「グループ ID」は、ユーザー & グループ画面のグループ情報の「グループ ID」にて確認ができます。



転送先に複数のグループを指定する場合は、「お客様カウンター,警備室」のようにグループ ID を区切り文字(デフォルトは「,」)で区切って入力します。

キーワードは先頭から 5 個目までが有効です。

6 個目以降は設定をしても転送条件として認識されません。

キーワード毎に、異なるグループヘデータを転送したい場合は、それぞれデータ転送設定をおこなってください。



2.3. グループへの割り当て

データの転送元となるグループに先ほど設定をした AI・アプリ連携のアイテムを割り当てます。

グループへの割り当て方法には、「グループの編集画面」、「AI・アプリ連携画面」の2つの方法があります。

4.3.1. グループの編集画面から割り当て

ユーザー&グループ画面にてデータ転送設定をするグループを選択し、AI・アプリタブの「AI・アプリの追加」をクリックします。

The screenshot shows the Buddycom Console interface. The top navigation bar includes 'buddycom Console' and the user 'admin@sample'. The main content area is divided into three tabs: '階層の作成', 'ユーザーの作成', and 'グループの作成'. The 'グループの作成' tab is active, showing a list of groups. The 'AI・アプリ' sub-tab is selected, displaying a table with a '+ AI・アプリの追加' button highlighted in a red box.

AI・アプリの追加画面にて先ほど設定をしたデータ転送設定を選択し、「保存する」をクリックします。

The screenshot shows the 'AI・アプリの追加' dialog box. It has a title bar 'AI・アプリの追加' and a sub-header 'AI・アプリ選択' with a '全て削除' link. Below the header, there is a list of AI・アプリ items: 'お客様カウンター転送' and '警備室転送'. The 'お客様カウンター転送' item is selected and highlighted. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'キャンセル' and '保存する'.

これで設定は完了です。

4.3.2.AI・アプリ連携画面から割り当て

設定画面にてAI・アプリ連携をクリックし、データの転送元となるグループの設定を行うデータ転送設定の「割り当て」をクリックします。



選択したデータ転送設定の割り当て画面にて、データの転送元となるグループを選択し、「保存する」をクリックします。



これで設定は完了です。

3. 制限事項/注意事項

- ・企業間通信では利用できません。

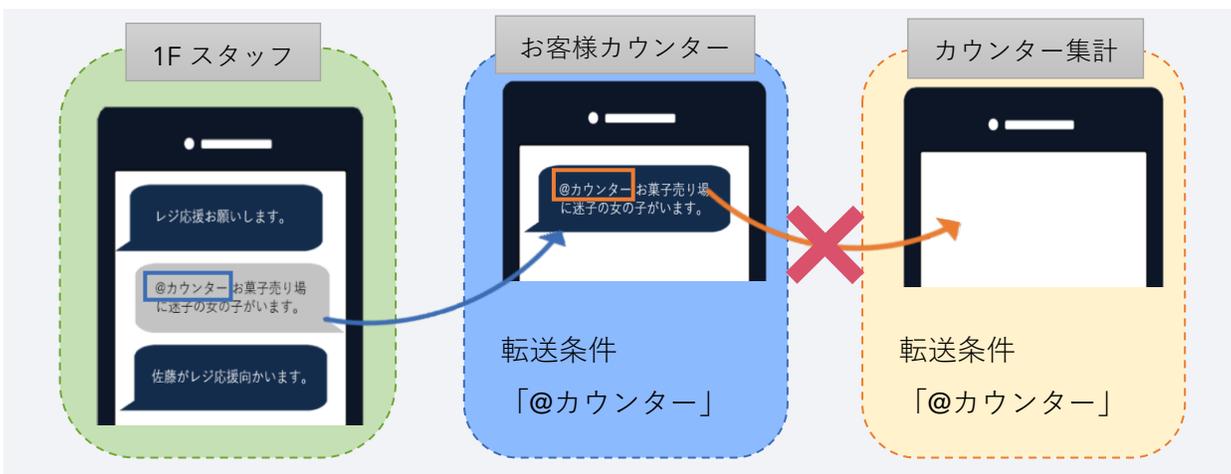
(テナント A のグループから、テナント B のグループに対してデータ転送はできません。)

- ・転送条件に、置き換え文字は利用できません。

置き換え文字とは、定型文の読み上げ文に設定すると、送信時に自動または手動で内容を置き換えることができる文字です。これらの置き換え文字は、テキスト送信時に転送条件のキーワードと異なる文字に置き換えられて送信されるため転送条件として利用できません。

置き換え文字	置き換える内容
\${DISPLAYNAME}	ユーザー表示名
\${GROUPNAME}	「聞く」を設定中のグループ表示名
\${USERNAME}	ユーザー名(ログイン時のユーザーID)
\${TODAY}	送信時の年月日
\${NOW}	送信時の時刻
\${TEXT}	入力した任意のテキスト
\${DATE}	選択した日付
\${TIME}	選択した時間
\${DATETIME}	選択した日付と時間
\${NUMBER}	入力した任意の数字

- ・異なるグループから転送されたデータは、データ転送条件に一致していても再転送はできません。



- ・転送先に指定されたグループに、グループ内の通話を受信している状態のユーザーがない場合は、データ転送は実行されません。

※グループ内の通話を受信しているユーザーがいなくなっても、5分間はデータ転送が実行されます。